

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Feasibility, efficacy, and cautionary note of endoscopic resection for gastric tube cancer after esophagectomy. 食道癌術後再建胃管に発生した早期胃癌に対する内視鏡治療の短期及び長期成績に関する検討
	研究目的	食道癌術後再建胃管癌に対する内視鏡治療の安全性・有効性を評価する
	研究対象者	1997年1月から2020年12月までに当院消化器内科で内視鏡切除(EMR, ESD)を行った、食道癌術後再建胃管に発生した早期胃癌の患者
	研究期間	西暦 2021年7月5日 ~ 西暦 2024年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(内視鏡所見/画像/ <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録       動画、病理診断データ)
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科 井口靖弘
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器内科、消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	該当なし